



第40期リーダー・サブリーダー決起大会

9月2日(土)、豊橋商工会議所にて第40期リーダー・サブリーダー決起大会が行われました。第40期の事故撲滅達成に向けて、全員でグループ討論や危険予知トレーニングを行いました。40期リーダー長のS・Mさんから、コメントを頂きました。

㈱マイシンの節目になる40期に新しく任命されたリーダー・サブリーダーで一堂に集まり、会議を行いました。危険予知トレーニングでは、部門の違いはあっても、各回答に同じものも多く、一致した意見が多数出ました。その多数の意見の全ては「基本の徹底」でした。同じ意志を持った仲間が集まったことが確認でき、とてもうれしかったですし、これからこの一年、「一致団結」できると、確信しました。

グループ会議では、各グループで掲げた目標に対して、何が一番重要なのか、足りないものはなにかなど、話し合いを行いました。ミーティングの中で大切なのは、リーダーとサブリーダーの二人が同じ方向を向くことです。そうすることでミーティングを迷いなく進め、皆さんを引っ張っていただけるからです。グループ会議後、二人の意志が一致し、確固とした具体策を発表してくれました。事故撲滅に向けて大きな一歩を踏み出すことが出来ました。今回の会議後、皆さんの心の火を絶やさないう自身もより一層高めていこうと感じました。

始めて任命された方は不安も多いかと思います。自分に何でも聞いてください。協力し合って社内全体の結束を高めることが事故撲滅には不可欠です。そのためにリーダー長として、皆さんを支え、指針になっていきます。リーダー・サブリーダー会で、マイシンの安全遂行のために協力し合い、頑張っていきましょう。

リーダー長 S・M



決起大会の様子

牟呂八幡宮ご祈祷

9月1日(金)に、無事故の願いを込めて皆さんがサインした「ミドリ十字の旗」を持って、牟呂八幡宮に安全祈願をして参りました。「神頼み」という言葉がありますが、神様にただお願いするだけでは、願いを叶える事は難しいです。願いを成就させる為には、自分自身でも「絶対に事故は起こさない」という気持ちで、進んで考え行動を起こす事が大切です。

運行に出発する前に、全員で無事故を願う気持ちを込めた「ミドリ十字の旗」を見て「今日一日無事故で頑張るぞ」と気を引き締めて一日の業務に取り組んで下さい。そして、会社に戻って来た時には「今日一日無事故でありがとう」と感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。同様に日々自分が運転しているトラックや作業に使う道具にも感謝をし、大切に扱いきましょう。何気ない動作や作業ひとつにも気を配る事が、不注意を減らし車両・作業事故の発生を防ぎます。



「事故は絶対に起こさない」という信念に安全が宿ります。全員の力を合わせて無事故実現に向けて頑張っていきましょう。

取締役統括部長 佐原秀雄

ロジックスライン様朝礼見学来社

9月13日(水)、株式会社ロジックスライン代表取締役沢田秀明様が来社され、活力朝礼を見学されました。沢田様から、ご挨拶と朝礼を見学された感想を頂きましたのでご紹介します。



この度は、朝礼見学の機会を頂いたことを光栄に思います。千葉県成田市、成田空港の近くに拠点を置く弊社は、平成10年にアパートの一室で5台のトラックと共に始まりました。頑張ってくれる社員や支えてくれるお客様のおかげで、来期で20周年を迎えます。今回、そんな我が社を更に向上・発展させるべく、他社様を訪問し刺激を受け、良い所を取り入れたいと思い貴社を訪問させて頂きました。以前にも貴社の活力朝礼を拝見し、我が社でも朝礼を取り入れたいと思っていましたが、今までなかなかその一歩を踏み出せずにいました。しかし再び朝礼を拝見させて頂き、朝礼に全力で参加されている社員の皆様の頑張り、そして辻様の社員を思う熱意に改めて感動し、見習いたいという思いを新たにしました。この度はありがとうございました。

株式会社ロジックスライン 代表取締役さわだひであき沢田秀明様

新人対象研修実施

この度、9月16日(土)と30日(土)の2回に分け、管理部による新人さんを対象にした研修を実施しました。

この研修は、リーダー会で新人さんによる事故の件数を改善する事はできないかという提案をきっかけに始まり、今回で4回目の実施となりました。今までは私が中心となり内容を考え進行していましたが、今回から岩瀬主任に内容・進行ともに研修をして頂くことになりました。先日修了したヤマネット実践研修での学びを活かし、新人さんにとってよりわかりやすい指導をしてけると期待しています。



最初の座学では、以前乗務員の皆さんに配布した「運送事故防止 ハンドブック」を活用し、荷物事故やフォークリフトによる事故防止のための教育を行いました。その後、カウンターリフトを使用した実技にてリフト操作や荷台への積み込み練習を行いました。参加された乗務員の皆さんは、座学・実技ともに真剣に取り組んでいました。今回の研修で、リフトの扱い方についてより深い理解を得られたことと思います。今回はカウンターリフトの研修でしたが、次回は



11月にリーチリフトの研修を実施致します。新人さんに限らず、リーチリフトが苦手な練習したい、という方の参加も大歓迎です。また研修日以外でも、リフトの練習がしたいという方は練習する機会を設けますので、ぜひ遠慮せずに申し出て下さい。

基本的な作業をしっかりと身に付ける事がミスを減らし、事故の発生を防ぎます。確実に業務を遂行し、無事故へと繋げていきましょう。

管理部係長 稲橋宗一

実技を受け、リフト作業がパレット上の荷物に大きく影響する事を改めて学びました。また、荷物の間に挟むコンパネ等の緩衝材も、安全なリフト作業や荷物事故の防止のためにとっても重要なものであると知り、これからはより活用していこうと思いました。今後は、学んだ事を活かし今まで以上に荷物を丁寧に扱い、お客様にお届けしていきます。

運行 6G H・K

今回リフトの基本を学ぶ中で、技術だけでなく作業の上で注意すべき危険を認識しました。リフトのツメは、少しの油断で荷物や人を傷つけないものだという意識を常に持ち作業に取り組んでいきます。また、リフトではバック走行が多いので、後方確認を怠らないようにします。まだまだ未熟ですが、安全に気をつけながら技術向上に努めていきます。

運行 4G M・K

研修を受けて、リフトは正しく使えば便利でも、確認不足や間違った使い方によって危険なものになってしまうのだと改めて学びました。リフトを使えば重い荷物でも簡単に持ち上げられるようになるけれど、少しの油断が大切な荷物を傷つけてしまう事もあります。それをしっかり意識しながら、これからは必ず確認を行い、確実に安全な操作をしていきます。

運行 6G Y・S



新入社員紹介



毎日笑顔で業務に取り組み、早く仕事を身に付けて会社の一員となれるように頑張ります。ご指導よろしくお願いします。

運行 6G Y・H



初めての運送業でわからない事や不安もありますが、一日も早く仕事に慣れていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

運行 3G N・S



運送業は初めてですが、取得している大型・リフト免許を最大限に活かしていけるように頑張ります。ご指導よろしくお願いします。

浜松東 3G D・S

配達経験者とのことで、作業の理解がとても早いです。また、話上手なのでお客様とも上手にコミュニケーションが取れると思います。初めてのトラックやリフトの運転は大変だと思いますが、一緒にステップアップしていきましょう。

運行 6G M・G

新しい環境と未経験の職種に、始めはわからない事も多く大変だと思います。自分もそうでしたが、わからない事をそのままにせず、恥をかいても乗り越えていく事で仕事が身に付いていきます。安全第一で、一步ずつ成長していきましょう。

運行 3G 藤井勝康

運転初日こそごちなかつたですが、二日目には嘘のように上達したのでとても驚きました。配達先で自ら積極的に行動しコミュニケーションを取っている姿も、とても好印象です。お客様の大切な荷物を運んでいるという気持ちを忘れず、安全運転に徹して下さい。

浜松東 1G N・A

ありがとうカード紹介

ありがとうカード
(明るく楽しい会社を目指して)

様 ありがとうございます。

日にち: 8月30日 場所: 127

思いの丈:
A 社様 より、お誉めの言葉頂戴いただきました。乗荷があるかないか、電話してくださるのか、助かるという事です。より

委員会からのお願い 氏名:

株マイシン感動委員会

ありがとうカード
(明るく楽しい会社を目指して)

様 ありがとうございます。

日にち: 9月26日 場所:

思いの丈: 率先して、声かけと行動 感謝 😊
燃費料の減量を頑張る為に、
30タンクを用いてくれてありがとう。ご礼状より
トコは確認できて良かったです!

委員会からのお願い 氏名:

株マイシン感動委員会

皆さんに書いて頂いているありがとうカードの中から、素敵な内容のものをご紹介します。不定期掲載になるかもしれませんが、今後も引き続きありがとうカードを紹介していく予定です。

感動 39 委員会



子供だけの列車旅

本年三月、国鉄が民営化して三十周年を迎えました。全国の JR 各社が、企画乗車券を販売するなど、各種イベントが催されています。

昭和四十年代に小学生だった A 子さん。夏休みや冬休みになると、妹と二人だけで、東京から福島県の祖父母の家に遊びに行くようになりました。

祖父母の家は、国鉄常磐線・平駅(現・JR いわき駅)が最寄り駅でした。始発の上野駅の列車内まで母が送ってくれて、面倒を見てくれそうな大人の近くの席を探し、平駅では祖父が迎えに来てくれました。

車中、乗客から飴やみかんをもらい、景色を眺めているうちに到着駅に到着します。ホームに祖父の顔が見えると、子供心にもほっとしたそうです。

A さんが高学年になると、自宅から祖父の家まで、自分たちだけで行けるようになりました。

あれから数十年が経ち、昨年には初孫が産まれた A 子さん。〈孫だけで我が家に遊びに来る日が来ないかな〉と、少しせっかちに孫の成長を願う日々です。

今日の心がけ：子供の成長を見守りましょう

職場の教養：10月1日(日)より